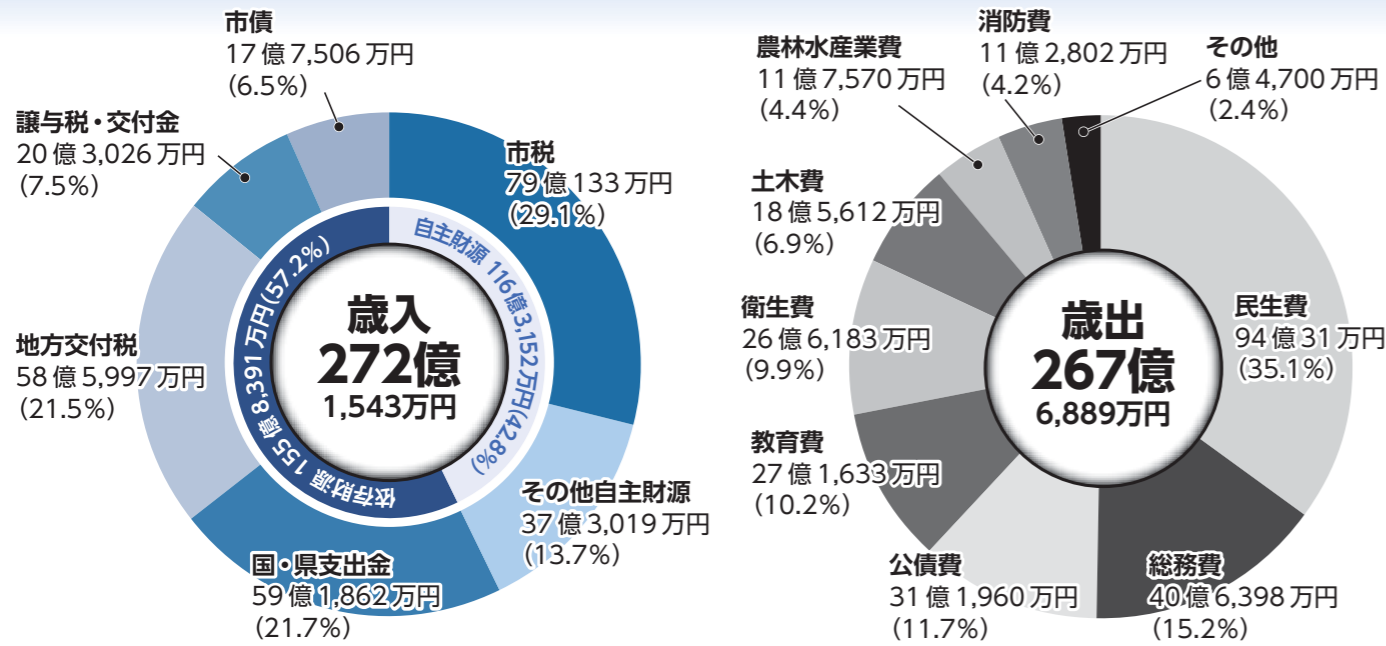
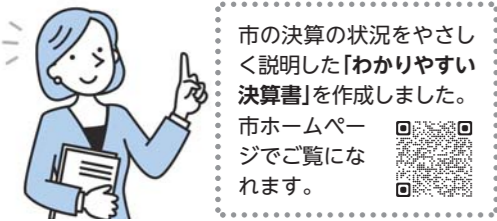


一般会計 福祉や教育など基本的な行政サービスを行うための会計です。



歳入と歳出の差額は？

翌年度事業の財源に使われるほか差額の1/2以上は財政調整基金(自由に使える市の貯金)に積み立てられます。令和5年度末の財政調整基金残高は23億3,171万円の前年度末18億2,162万円から5億円ほど上積みできました。



市の決算の状況をやさしく説明した「わかりやすい決算書」を作成しました。市ホームページでご覧いただけます。

用語の説明

- 民生費**…障害者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのために使われるお金
- 総務費**…財産管理、統計、税金の事務などに使われるお金
- 公債費**…市が借り入れた借金などの元利償還金
- 教育費**…学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに使われるお金
- 衛生費**…ごみ処理、環境保全、ワクチン接種などのために使われるお金

公営企業会計 地方公営企業法が適用される事業として区別されます。水道事業・病院事業・下水道事業を行う会計です。



企業会計名		収入	支出
水道事業	収益的収支	23億3,954万円	21億6,443万円
	資本的収支	4億1,306万円	11億9,656万円
病院事業	収益的収支	6億8,167万円	6億8,394万円
	資本的収支	4億7,350万円	6億4,731万円
下水道事業	収益的収支	15億2,937万円	14億8,242万円
	資本的収支	6億651万円	11億8,245万円

※資本的収支の差は、各企業会計で留保している資金で対応しました。

特別会計 特定の収入で特定の事業を行うとき、その収支を明確にするために設置する会計です。

区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	73億439万円	72億9,780万円
介護保険事業	65億5,250万円	64億2,284万円
後期高齢者医療事業	9億2,171万円	9億2,053万円



令和5年度一般会計の決算の内容は？

☎ 財政室 ☎ (24) 8926

決算

令和5年度は、3億5千万円余りの黒字を確保することができました。市の貯金(財政調整基金)も5億円ほど積み増すことができました。しかし、令和5年度1年間の収支だけを見ると(令和4年度からの繰越金を除くと)、1億5千万円以上の赤字が生じています。近年頻発する大規模災害や物価高騰による支出の急激な増加など、迅速かつ確実に対応するためには、財政調整基金の額を一定程度(できるだけ多く)維持していく必要があります。今後も、事務事業の見直しや市債の借入抑制による歳出の削減とともに、未収金対策や市有地の貸付・売却などの歳入確保を強化していきます。

5万5千人の台所事情

銚子家(市)の家計簿

年収544万円の家計に例えると…

収入		支出	
令和4年度と比較して…		令和4年度と比較して…	
現金収入合計	515万円 (10万円)	生活費合計	333万円 (4万円)
給料(市税)	158万円 (△1万円)	食費(人件費)	108万円 (1万円)
親からの援助	276万円 (0万円)	医療費(扶助費)	109万円 (9万円)
パート収入(諸収入、使用料・手数料)	31万円 (△6万円)	光熱水費など雑費(物件費、補助費等)	113万円 (△6万円)
お年玉(寄附金)	14万円 (8万円)	家、車などの修理代(維持補修費)	3万円 (0万円)
ローン(借入金)	36万円 (9万円)	親せきへのお年玉(投資及び出資金)	9万円 (1万円)
貯金の取り崩し(繰入金)	17万円 (4万円)	子どもへの仕送り(繰入金)	51万円 (1万円)
繰越金(繰越金)	12万円 (0万円)	ローンの返済(公債費)	62万円 (△1万円)
繰越金12万円が無かったら…収入合計532万円-支出合計535万円=△3万円(3万円の赤字)		家の小規模改築(普通建設事業費)	52万円 (19万円)
収入合計	544万円 (14万円)	貸付(貸付金)	4万円 (△2万円)
貯金残高	84万円 (17万円)	貯金(積立金)	24万円 (6万円)
		支出合計	535万円 (28万円)
		余り	9万円 (△14万円)
		ローン残高	474万円 (△25万円)



市債現在高

市の借金

市債(学校や道路などの整備に国や銀行などから借りたお金)の令和5年度末現在高は、一般会計と公営企業会計の総額で378億2,719万円。地方交付税として算入される額を除くと、市が実質的に負担する額は182億3,400万円で、全体の48.2%となっています。

会計名	令和5年度末現在高(1)	左のうち交付税算入見込額(2)	市(各会計)の実質負担額(1)-(2)	実質負担割合
一般会計	237億2,277万円	150億1,775万円	87億502万円	36.7%
水道事業会計	50億7,929万円	1億7,791万円	49億138万円	96.5%
病院事業会計	7億432万円	2億6,441万円	4億3,991万円	62.5%
下水道事業会計	83億2,081万円	41億3,312万円	41億8,769万円	50.3%
合計	378億2,719万円	195億9,319万円	182億3,400万円	48.2%

健全化判断比率

5つの比率で財政の健全度を判断

数値は基準を下回っていますが、県内54市町村の中で、実質公債費比率は最下位、将来負担比率は50位です。依然として、厳しい財政状況が続いています。

▶ 公営企業はいずれも資金不足は生じず、資金不足比率は生じませんでした。

指標	銚子市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.78%	20.0%
▶ 一般会計の赤字割合	—	12.78%	20.0%
連結実質赤字比率	—	17.78%	30.0%
▶ 市の全ての会計の赤字割合	—	17.78%	30.0%
実質公債費比率	13.4%	25.0%	35.0%
▶ 借金の返済がどれ位負担になっているか	13.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	65.1%	350.0%	基準なし
▶ 将来世代にツケを先延ばししていないか	65.1%	350.0%	基準なし